

「 「 「 「  
「 「 「  
「 「  
「

♪ジョイコン NEWS ♪

第26号 2017年10月6日

「人々を笑わせ、そして考えさせてくれる研究」に贈られるイグ・ノーベル賞の「生物学賞」で、北海道大学の吉澤准教授、慶応大学の上村准教授とブラジルの研究者ら4人が共同受賞したそうです。受賞理由は「交尾器が雌雄で逆転した昆虫の発見」というユニークな研究です。  
[https://www.hokudai.ac.jp/news/140418\\_pr\\_agr.pdf](https://www.hokudai.ac.jp/news/140418_pr_agr.pdf)  
さて、今月は本家のノーベル賞が順次発表されます。注目したいですね。

それでは、「♪ジョイコン NEWS ♪」（第26号）をお届け致します。

【もくじ】

- 【1】 次回コンサートのご案内
  - ◆第30回コンサート
- 【2】 今後の予定（先取り情報）
  - ◆第31回コンサート
  - ◆第32回コンサート
- 【3】 ヴィエニャフスキってご存知ですか？
- 【4】 コンサートのアンケートから

【1】 次回コンサートのご案内

■■第30回コンサート■■

- ◇2017年11月19日（日曜日）14:00開演（13:30受付開始）
- ◇出演：藤原晶世（ヴァイオリン）開原由紀乃（ピアノ）
- ◇プログラム（予定）
  - ◆ブラームス：ヴァイオリンソナタ第2番
  - ◆バルトーク：ラプソディー第1番
  - ◆クライスラー：ウィーン奇想曲
  - ◆ドヴォルザーク：スラブ舞曲第10番
  - ◆ポンセ：エストレリータ
  - ◆グリーク：ヴァイオリンソナタ第3番

- ◇料金：大人・高校生2,000円、中学生以下1,000円
- ◇会場：大倉山記念館ホール

第30回ジョイフルコンサートは『紅葉の大倉山で聴く 藤原晶世リサイタル』と題して、お届けします。

\*\*\*\*\*

藤原晶世さんからメッセージが届いています

\*\*\*\*\*

今回は紅葉の季節という事でそんな昼下がりに聴きたいと思う曲を集めてみました。私の住むベルリンは既に11月の気候で練習室の窓からは沢山の木から葉が舞い落ちる様子が音楽的にうつります。

自然と静けさが一番音楽を素敵にしてくれると感じながら練習する毎日です。大倉山記念館の美しいホールと美しい自然を音楽でより素敵に出来たら嬉しいと思っております。

皆様と素晴らしい午後のひと時を共有出来る事を楽しみにしております

\*\*\*\*\*

今回のジョイフルコンサートは藤原晶世さんのヴァイオリンの演奏です。秋にふさわしい曲を選んで演奏して下さいます。どうぞお楽しみになさってください。

## ☆グリーグ/ヴァイオリンソナタ第3番

私は個人的にグリーグのピアノ協奏曲が昔から大好きです。何ともカッコ良いのです。最初のピアノの始まりで極寒の海で流水がバキバキッと音がして割れている映像が浮かんでしまいます。途中からダイナミックですが、とても甘美な部分があって、雄大に終わります。2楽章はとても素敵ですし、3楽章はまたカッコ良いです。

### ○グリーグ

グリーグはスウェーデン統治下のノルウェーに生まれました。母親が文学や音楽を学んだ人だったそうで、その影響でグリーグも子供の頃から音楽に親しんでいました。ドイツのライプツィヒ音楽院で作曲とピアノを学びます。卓越した技術を持つピアニストで、自分の作品の演奏旅行もしているそうです。その録音が聴けるそうです。いつか聴いてみたいと思います。

従妹のソプラノ歌手ニーナ・ハーゲルuppと結婚します。夫婦はとても仲睦まじく、グリーグが書いた歌曲はほとんどニーナのためだと言われています。

クリスチャニア(現オスロ)のフィルハーモニーの指揮者に就任し、その後民族音楽、民族楽器に傾倒していきます。ペールギュントの「朝」にはハーディングフェーレという小型のヴァイオリンの様なノルウェー特有の楽器が使われています。

トロルハウゲンに自宅を建て、ノルウェーの独立を見て、64歳で亡くなりました。遺言によりお墓はトロルハウゲンの岸壁に作られ、遺灰の一部は自宅の下にある湖にまかれました。妻のニーナはその後自分が死ぬまでグリーグの作品の普及に努めたそうです。最期まで仲の良いご夫婦ぶりがうかがえます。

### ○ヴァイオリンソナタ第3番

グリーグはピアノの曲を数多く書いて「北欧のショパン」とも呼ばれているそうです。そしてヴァイオリンとピアノのためのソナタともいえるヴァイオリンソナタを3曲書いていて、今回演奏される第3番が最も人気のある曲だそうです。

最初とてもドラマチックで印象的な始まり方をします。民族音楽の要素がとても濃いと思われま。やはり北欧の厳しく荒々しい冬の風景を思い起こさせます。

他の曲も特にブラームスのソナタはしっとりとしたヴァイオリンの旋律がとても素敵です。季節は進んで寒くなりますが、音楽で心が温まるような時間を過ごして頂けたらと思います。(A.N)

#### ■予約申し込みはこちら

ホームページ：<http://www.ohkurayama-joycon.com/>

予約専用電話：080-8424-5108

---

【2】今後の予定(先取り情報)～「予約申し込み」はまだ受付けておりません

---

#### ■■第31回コンサート■■

◇2018年1月21日(日曜日)

◇出演：伊藤悠貴(チェロ) ロー磨秀(ピアノ)

#### ★伊藤悠貴(チェロ)

15歳で渡英。ブラームス国際および、英国の最高峰ウィンザー祝祭弦楽国際コンクールで日本人初優勝。2011年名門フィルハーモニア管弦楽団定期公演にてメジャーデビュー。V.アシュケナーズ、D.ゲリンガスらと共演を重ね、ロンドンを拠点に国際舞台で活躍。王立音楽大学首席卒業。

◆予約受付開始日：2017年11月20日(月曜日)

---

## ■■第32回コンサート■■

◇2018年3月18日（日曜日）

◇出演：押部朋子（フルート）景山梨乃（ハープ）

### 【3】ヴィエニャフスキってご存知ですか？

ヴィエニャフスキといってもご存じの方は少ないでしょうが、出身国のポーランドでは、ピアノのショパンに匹敵するほどの作曲家で、ヴァイオリニストとしてもイタリアのパガニーニやスペインのサラサーテと並んで「19世紀の三大ヴァイオリニスト」といわれています。

ヴィエニャフスキ（1835～1880）はブラームスやチャイコフスキーと同年代の人です。ほとんどヴァイオリン曲しか書いていませんが、ヴァイオリニストが作った曲らしくどれも演奏効果抜群の華やかで名人芸的要素にあふれています。

『ヴァイオリン協奏曲第1番、第2番』は、コンクールの課題曲としては弾かれますが、演奏会ではほとんど弾かれることはありません。ヴァイオリニストの話では「ヴァイオリンが歌いやすい素敵なメロディーなのにメンデルスゾーンやチャイコフスキーの曲のようにしつこく感動を引っ張っていかないで、曲が盛り上がった時にさっと終わってしまう、その為に聴く人を今ひとつ満足させられないのが弾けない理由かも」ということです。

でも、小品には素敵な曲がたくさんあって演奏会でも弾かれています。

『2つのヴァイオリンの為に奇想曲（カプリース）』や『華麗なるポロネーズ第1番、第2番』『クヴァヴィアーク（ポーゼンの思い出）』『伝説曲』『モスクワの思い出』『スケルツォ・タランテラ』などが有名です。

1935年にヴィエニャフスキ生誕100年を記念して「ヴィエニャフスキ国際ヴァイオリンコンクール」が創設されました。これは世界4大ヴァイオリンコンクールの1つとして（他はエリザベト王妃国際音楽コンクール、チャイコフスキー国際コンクール、パガニーニ国際コンクール）現在でもヴァイオリニストの登竜門として知られています。ショパンコンクールと同様5年に1度の開催で、ポーランドのポズナンで開かれます。

第15回は2016年に開かれ、世界40ヶ国約250人の応募者の中から岡本誠司さんが第2位に、周防亮介さんが第7位に入賞されました。

過去には、漆原啓子さんが第1位、古澤巖さんが第5位（第8回）、神尾真由子さんが第4位（第12回）、小林美樹さんが第2位（第14回）のほか多くの日本人が入選しています。ちなみに昨年の審査委員長は有名なヴァイオリニストのマキシム・ヴェンゲーロフ氏でした。

これから皆様がヴァイオリンの演奏会でプログラムをご覧になると、ヴィエニャフスキの名前を目にされることがきっとあると思います。（のん）

### 【4】コンサートのアンケートから

★前回のジョイフルコンサート（9月17日公演）：『タンゴ・タンゴ・タンゴ～平田耕治&アリエル・ロペス・サルディーバルスペシャルコンサート』は如何でしたか？

アンケートの満足度では、「大変良かった」61%、「良かった」14%、残りは「無回答」の25%でした。いわゆる”クラシック”とは違った企画でどのような反応が出るのか少し心配でしたがとても好評でした。

自由記入欄（ご感想など）には、

『バンドネオンの演奏を聴く機会があまりないので楽しかったです。メンバーの息の合った演奏が素晴らしかったです』『とてもすてきでした。ピアソラの曲では涙が出ました。ギターも繊細でした。ありがとうございます』『バンドネオンをナマで聴いたのは初めてです。アイシュウを帯びた音色が素敵です。ギターとも息がピッタリでウツリして聴きました。こういう純然たるクラシック音楽とは違ったコンサートも楽しみです』など、好意的メッセージが数多く寄せられました。

アンケート回収数：51（回収率 64%）

---

【編集後記】

---

このメールマガジンは、これまでコンサート予定日の概ね1か月前に配信しておりました。ところが配信時に、次回コンサートが満席になってしまうことがあり、読者の方からお叱りのメールも頂きました。

そこで今回から2週間程度前倒ししてお届けすることに致します。

引き続き、どうぞよろしくお願い致します。（お）

---

※このメールマガジンは、  
大倉山ジョイフルコンサートのアンケート等で  
「コンサート情報」を希望された方に配信しております。

■演奏会予約申し込み

次回予約申し込みはこちら

ホームページ：<http://www.ohkurayama-joycon.com/>

予約専用電話：080-8424-5108

■バックナンバー

メールマガジンのバックナンバー（PDFファイル）はこちら

ホームページ：<http://www.ohkurayama-joycon.com/>

■配信停止／アドレス変更

メールマガジンの登録、配信停止、アドレス変更はこちら

[info@ohkurayama-joycon.com](mailto:info@ohkurayama-joycon.com)

.....  
発行：大倉山ジョイフルコンサート実行委員会

Eメール [info@ohkurayama-joycon.com](mailto:info@ohkurayama-joycon.com)

携帯電話 080-8424-5108

URL <http://www.ohkurayama-joycon.com/>  
.....